

今年もアザメの瀬で手作業の稲刈りを体験 ～小学校の環境学習フィールドとして活用中～

武雄河川事務所 最近の話題

10月31日（金）に唐津市立相知小学校5年生の約50人が総合学習の一環として、松浦川にあるアザメの瀬で稲刈りを行いました。最近では体験する機会が少なくなった鎌を使った手作業の稲刈りを慎重な手つきで行い、楽しそうに稲刈りをしていました。また、それを支援するNPO法人アザメの会などの大人達もとても嬉しそうな様子でした。

この「アザメの瀬」は、住民（NPO法人アザメの会）、学識者（九州大学）、行政（武雄河川事務所）の共同支援により、小学校の環境学習（田んぼの学習等）のフィールドとしても活用され、自然再生事業の目標の一つである「人と生物のふれあいの再生」の一端を担っているものです。

当事務所は今後も、住民、地元小学校、学識者と連携して環境学習の取り組みを支援していきます。



刈り方の説明を真剣に聞いてます。



作業前に腹ごしらえ。美味しい！



手で刈るのは難しいけど、楽しい



今年もたくさんお米が取れたぞー。



きれいに刈り取ることができました。



クラス毎に記念撮影。パチリ！！



次は餅つきで会おうね。